子音間の類否関係（調音位置、呼気の流れ方、有声・無声の別）

作成2022年4月2日、最終更新2022年4月24日　小山特許事務所　弁理士 小山 方宜

調音位置 / 呼気の流れ方		(キャキュキョ) 軟口蓋音	(ギャギュギョ) 軟口蓋音	歯茎音	(シャシュショ) 硬口蓋歯茎音	歯茎音	(ジャジュジョ) 硬口蓋歯茎音	歯茎音	(チャチュチョ) 硬口蓋歯茎音	歯茎音	歯茎音	歯茎音	(ニャニュニョ) 硬口蓋歯茎音	声門音	(ヒャヒュヒョ) 硬口蓋音	両唇音	(ビャビュビョ) 両唇音	(ピャピュピョ) 両唇音	(ミャミュミョ) 両唇音	硬口蓋音	(リャリュリョ) 歯茎音	軟口蓋音	口蓋垂音
	調音位置	軟口蓋音	軟口蓋音	歯茎音	硬口蓋歯茎音	歯茎音	硬口蓋歯茎音	歯茎音	硬口蓋歯茎音	歯茎音	歯茎音	歯茎音	硬口蓋歯茎音	声門音	硬口蓋音	両唇音	両唇音	両唇音	両唇音	硬口蓋音	歯茎音	軟口蓋音	口蓋垂音
	呼気の流れ方	破裂音（無声）	破裂音（有声）	摩擦音（無声）	摩擦音（無声）	摩擦・破擦音（有声）	摩擦・破擦音（有声）	破裂音（無声）	破擦音（無声）	破擦音（無声）	破裂音（有声）	鼻音（有声）	鼻音（有声）	摩擦音（無声）	摩擦音（無声）	摩擦音（無声）	破裂音（有声）	破裂音（無声）	鼻音（有声）	接近音（有声）	弾き音（有声）	接近音（有声）	鼻音（有声）
調音位置		k	g	s	ʃ	z・dz	ʒ・dʒ	t	tʃ	ts	d	n	ɲ	h	ç	ɸ	b	p	m	j	r	w	N
呼気の流れ方		カキクケコ	ガギグゲゴ	サスセソ	シ	ザズゼゾ	ジ	タテト	チ	ツ	ダデド	ナヌネノ	ニ	ハヘホ	ヒ	フ	バビブベボ	パピプペポ	マミムメモ	ヤユヨ	ラリルレロ	ワ	ン
軟口蓋音 破裂音（無声）	k カキクケコ	○ ○	○ △			↑ ↑ 語中では摩擦音 語頭では破擦音		○			△						△	○				○	
軟口蓋音 破裂音（有声）	g ガギグゲゴ		○ ○					△			○						○	△				○	
歯茎音 摩擦音（無声）	s サスセソ			○ ○	○	○ △	△	○		○	○	○		○	○	○					○		
硬口蓋歯茎音 摩擦音（無声）	ʃ シ				○ ○	△	○ △		○				○	○	○	○							
歯茎音 摩擦・破擦音（有声）	z・dz ザズゼゾ					○ ○	○	○	△	○ △	○	○		△	△	△					○		
硬口蓋歯茎音 摩擦・破擦音（有声）	ʒ・dʒ ジ						○ ○		○ △	△			○	△	△	△							
歯茎音 破裂音（無声）	t タテト							○ ○		○	○ △	○					△	○			○		
硬口蓋歯茎音 破擦音（無声）	tʃ チ								○ ○	○			○										
歯茎音 破擦音（無声）	ts ツ									○ ○	○	○									○		
歯茎音 破裂音（有声）	d ダデド										○ ○	○					○	△			○		
歯茎音 鼻音（有声）	n ナヌネノ										○ ○	○	○						○		○		○
硬口蓋歯茎音 鼻音（有声）	ɲ ニ											○ ○	○						○				○
声門音 摩擦音（無声）	h ハヘホ													○ ○	○	○							
硬口蓋音 摩擦音（無声）	ç ヒ														○ ○	○				○			
両唇音 摩擦音（無声）	ɸ フ															○ ○	○	○	○				
両唇音 破裂音（有声）	b バビブベボ																○ ○	○ △	○				
両唇音 破裂音（無声）	p パピプペポ																	○ ○	○				
両唇音 鼻音（有声）	m マミムメモ																		○ ○				○
硬口蓋音 接近音（有声）	j ヤユヨ																			○ ○		○	
歯茎音 弾き音（有声）	r ラリルレロ																				○ ○		
軟口蓋音 接近音（有声）	w ワ																					○ ○	
口蓋垂音 鼻音（有声）	N ン																						○ ○

（1）○は、(a)「調音位置」が同じもの、又は(b)「呼気の流れ方」が同じで「有声・無声の別」も同じものです。△は、「呼気の流れ方」は同じで「有声・無声の別」が異なるものです。
○と△の内、赤色のものは、商標類否判断支援システムで用いた「子音間の類否表」と同じ結果のもの、緑色のものは、異なる結果のものを示します（参考情報）。

（2）「調音位置」「呼気の流れ方」「有声・無声の別」から、類似の傾向があると考えられる欄は、塗りつぶしました。
但し、調音位置などの共通性のみを考慮しており、たとえば調音位置の近似性については考慮しておりません（そのため、他に類似傾向がある欄はあり得ます）。
グレーの塗りつぶし欄は、「調音位置」「呼気の流れ方」「有声・無声の別」が同じため、子音の比較という観点からは、同一又は類似傾向が出ると考えられるものです。
オレンジの塗りつぶし欄は、「調音位置」と「呼気の流れ方」が同じため、子音の比較という観点からは、類似傾向が出ると考えられるものです。
ブルーの塗りつぶし欄は、「呼気の流れ方」と「有声・無声の別」が同じため、子音の比較という観点からは、類似傾向が出ると考えられるものです。
グリーンの塗りつぶし欄は、「調音位置」と「有声・無声の別」が同じため、子音の比較という観点からは、類似傾向が出ると考えられるものです。

（3）参考文献：佐藤亮一「音声学・音韻論からみた商標称呼の類否性」（昭和62年3月17日、弁理士会）

【ご注意】称呼類否の内、子音について検討したものです。商標の類否判断にあたっては、その他の要因も考慮する必要があります。

たとえば、相違音が語頭にあるか語中・語尾にあるか、全体の音数、母音が共通か近似かなどです。典型例は、商標類否判断支援システムのアルゴリズム（類否判断手順）をご覧ください（http://www.koyamapat.jp/2021/01/02/chinohan_guide/）。
また、商標の類否判断では、称呼だけでなく、外観や観念なども考慮する必要があります。詳しくは、商標の類否（類似/非類似）をご覧ください（http://www.koyamapat.jp/2019/04/17/ruiji/）。